

令和4年度事業

教育委員会の点検及び評価報告書

令和5年8月

いなべ市教育委員会

は じ め に

教育委員会制度は、地方公共団体の長が地域の実情に応じて策定した教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱をもとに、合議制の教育委員会が決定する教育行政に関する基本の方針に沿って、教育長及び事務局が広範かつ専門的に教育行政事務を執行するものです。

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条は、毎年、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価をすることとし、その際に、教育に関する学識経験者の知見の活用を図ることと定めています。

いなべ市教育委員会では、毎年、教育委員会の主要な施策をまとめた「いなべ市教育要覧」を作成し、公表しています。「いなべ市教育要覧」を資料とし、令和 4 年度の教育委員会の施策について、学識経験者から、事務の課題や今後の改善方策等について意見をいただきました。ここに、その点検評価の結果を報告します。

この評価をもとに、今後も本市の教育行政がより充実したものになるよう、取組を進めていきます。

令和 5 年 8 月 いなべ市教育委員会

目 次

教育総務課に関する事業	1
教育委員会委員事業	1
公立小学校施設整備事業	2
公立中学校施設整備事業	3
公立小学校施設維持管理事業	4
公立中学校施設維持管理事業	5
学校給食施設維持管理事業	6
学校給食施設整備事業	7
学校教育課に関する事業	8
不登校児童・生徒対策事業	8
学校 I C T 活用事業	9
小中一貫教育推進事業	10
夢・未来プロジェクト 2030 事業	11
地域学校協働事業	12
外国人英語指導事業	13
教育研究所事業	14
生涯学習課に関する事業	15
青少年健全育成市民活動事業	15
放課後子ども教室事業	16
文化施設等管理運営事業	17
文化芸術活動推進事業	18
埋蔵文化財調査記録保存事業	19
国重要文化財等保存活用促進事業	20
地域スポーツ推進事業	21
スポーツ施設管理運営事業	22
ツアー・オブ・ジャパンいなべステージ開催事業	23
自然学習室に関する事業	24
藤原岳自然科学館博物展示事業	24
藤原岳自然科学館自然教室事業	25
屋根のない学校事業	26
希少動植物保全事業	27
学識経験者の意見	28

教育振興ビジョン 基本理念	
事業名	教育委員会委員事業
事業の目的	教育委員会を通して、市としての教育方針を決定し、教育関係の諸問題への対応を検討する。
事業の概要	年間12回の定例会のほか、必要に応じて臨時会を開催する。また、市長と教育委員による総合教育会議を開催する。
令和4年度の事業内容	定例会、臨時会及び総合教育会議の開催
事業の実績・成果	
<p>(1)教育委員報酬(年額) 120,000 円×5人</p> <p>(2)教育委員会の点検及び評価 点検評価委員報償費 7,000 円×3人</p> <p>(3)教育委員会開催回数 定例会12回、臨時会1回</p> <p>(4)総合教育会議 会議内容 教育委員と首長との意見交換会</p> <p>(5)研修及び総会 三重県市町教育委員会連絡協議会総会【書面表決】 三重県市町教育委員会教育委員等研修会【オンライン】 三重の教育談義</p>	
事業の総合評価	
<p>地方教育行政の組織及び運営に関する法律に沿って、教育委員会事務局がその事務を執行している。</p> <p>12回の教育委員会定例会及び1回の臨時会並びに総合教育会議を開催した。また、教育委員等研修会や三重の教育談義に参加した。教育委員の定数は、条例に定められており人件費削減の余地はない。</p>	

教育振興ビジョン 基本理念	2 創意と活気に満ちた特色ある学校づくりの推進
事業名	公立小学校施設整備事業
事業の目的	学校施設の経年による改修更新を行うことにより、施設の延命を図る。
事業の概要	公立小学校11校における学校施設の整備改修及び設備更新
令和4年度 の事業内容	駐車場用地整備工事、LED 照明器具等賃貸借、変圧器高圧絶縁油取替工事、 児童用椅子購入
事業の実績・成果	
<p>(1) 三里小学校駐車場用地整備工事 請負業者 有限会社光輝</p> <p>(2) 石榑小学校 LED 照明器具等賃貸借 請負業者 東京センチュリー株式会社</p> <p>(3) 石榑小学校 変圧器高圧絶縁油取替工事 請負業者 株式会社エレックス極東四日市サービスセンター</p> <p>(4) 員弁東小学校児童用椅子購入 請負業者 三重ビジネス株式会社</p>	
事業の総合評価	
<p>文部科学省から要請のある学校施設の環境整備事業は、市の財政上の都合により達成が困難なことがある。中でも、令和4年度は三里小学校の駐車場用地整備や、石榑小学校の照明器具LED化及び変圧器高圧絶縁油取替工事、員弁東小学校児童用椅子購入など計画通りに完了できた。今後、市内学校施設はLED照明器具に計画的に変更していくため、今後の方向性は事業拡大とした。</p>	

教育振興ビジョン 基本理念	2 創意と活気に満ちた特色ある学校づくりの推進
事業名	公立中学校施設整備事業
事業の目的	学校施設の経年による改修更新を行うことにより、施設の延命を図る。
事業の概要	公立中学校4校における学校施設の整備改修及び設備更新
令和4年度 の事業内容	エレベーター設置工事、LED照明器具等賃貸借
事業の実績・成果	
<p>(1)員弁中学校エレベーター設置工事 請負業者 石川建設株式会社</p> <p>(2)北勢中学校 LED 照明器具等賃貸借 請負業者 NTT・TCリース株式会社</p>	
事業の総合評価	
<p>文部科学省から要請のある学校施設の環境整備事業は、市の財政上の都合により達成が困難なことがある。その中でも、令和4年度は員弁中学校のエレベーター設置や、北勢中学校校舎等の照明器具LED化など計画通りに完了できた。今後、市内学校施設はLED照明器具に計画的に変更していくため今後の方向性は事業拡大とした。</p>	

教育振興ビジョン 基本理念	2 創意と活気に満ちた特色ある学校づくりの推進
事業名	公立小学校施設維持管理事業
事業の目的	児童が安心して過ごせる学校施設を適正に維持管理する。
事業の概要	(1)公立小学校11校の施設管理及び保守点検 (2)建物と設備の修繕
令和4年度 の事業内容	施設維持管理の継続
事業の実績・成果	
<p>(1)保守管理委託</p> <ul style="list-style-type: none"> エレベーター保守点検 自家用電気工作物保安管理 警備保障(藤原小学校を除く。) 受水槽清掃 運動場整備 ごみ収集 校舎等床面清掃 プールろ過機保守点検 体育用具及び遊具保守点検 グリストラップ清掃(北勢地区小学校) 人工呼吸器ユニット保守点検 <p>(2)校舎緊急修繕工事(雨漏り、破損等に対応)</p> <p>(3)小学校備品購入</p> <ul style="list-style-type: none"> 小学校配膳台購入 	
事業の総合評価	
<p>学校の環境整備は、地域住民からの要望も踏まえ、柔軟に対応していることで地域住民の満足度も高い。今後も学校、保護者、地域の協力を得て、学校環境をさらに向上させていく。</p> <p>施設の保守管理については、専門業者による点検、整備等を行っている。</p> <p>校舎等にかかる修繕工事は、緊急性の高いものから修繕を行った。</p>	

教育振興ビジョン 基本理念	2 創意と活気に満ちた特色ある学校づくりの推進
事業名	公立中学校施設維持管理事業
事業の目的	生徒が安心して過ごせる学校施設を適正に維持管理する。
事業の概要	(1)公立中学校4校の施設管理及び保守点検 (2)建物と設備の修繕
令和4年度 の事業内容	施設維持管理の継続
事業の実績・成果	
<p>(1)保守管理委託</p> <ul style="list-style-type: none"> エレベーター保守点検(員弁中学校を除く。) 自家用電気工作物保安管理 警備保障 受水槽清掃 運動場整備 ごみ収集 校舎等床面清掃 体育用具保守点検 プールろ過機保守点検 人工呼吸器ユニット保守点検 <p>(2)校舎緊急修繕工事(雨漏り、破損等に対応)</p> <p>(3)中学校備品購入</p> <ul style="list-style-type: none"> 中学校冷蔵庫等購入 	
事業の総合評価	
<p>学校の環境整備は、地域住民からの要望も踏まえ、柔軟に対応していることで地域住民の満足度も高い。今後も学校、保護者、地域の協力を得て、学校環境をさらに向上させていく。</p> <p>施設の保守管理については、専門業者による点検、整備等を行っている。</p> <p>校舎等にかかる修繕工事は、緊急性の高いものから修繕を行った。</p>	

教育振興ビジョン 基本理念	2 創意と活気に満ちた特色ある学校づくりの推進
事業名	学校給食施設維持管理事業
事業の目的	安全、安心、安定した学校給食の供給を行う。
事業の概要	(1)大安学校給食センター 大安町及び員弁町内小中学校へ配送 (2)藤原学校給食センター 藤原小学校、藤原中学校、北勢中学校へ配送 (3)北勢町内小学校は自校式給食を実施 (4)市学校給食運営委員会補助金(給食費無償化)
令和4年度 の事業内容	(1)学校給食センター及び自校式給食施設の運営、維持管理 (2)一般廃棄物収集運搬委託、害虫防除委託、警備保障委託、換気扇清掃業務委託 (3)令和4年11月から令和5年3月までの給食食材費の補助(給食費無償化)
事業の実績・成果	
<p>(1)事務事業委託</p> <p>ア 調理業務委託 大安学校給食センター 3年契約(令和4、5、6年度) 委託業者 メーキュー株式会社 藤原学校給食センター 3年契約(令和2、3、4年度) 委託業者 株式会社魚国総本社</p> <p>イ 米飯給食委託 大安・藤原学校給食センター 委託業者 オーケーズデリカ株式会社</p> <p>(2)給食センター保守管理その他保守管理 大安学校給食センター 一般廃棄物収集運搬委託、害虫防除委託、警備保障委託 藤原学校給食センター 一般廃棄物収集運搬委託、害虫防除委託、警備保障委託 北勢地区4小学校(自校式) 害虫防除委託、換気扇清掃業務委託</p> <p>(3)市学校給食運営委員会補助金 令和4年11月から令和5年3月までの市内小中学校児童生徒分給食食材費の補助</p>	
事業の総合評価	
<p>新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、子育て世帯の支援及び生活支援のため、学校給食費の保護者負担を軽減するため、令和4年11月から給食費無償化を開始した。この事業は継続的に続け、これは全国的にも例は少なく、先進的な事業となる。</p>	

教育振興ビジョン 基本理念	2 創意と活気に満ちた特色ある学校づくりの推進
事業名	学校給食施設整備事業
事業の目的	学校給食施設の改修更新を行うことにより、施設の延命を図る。
事業の概要	給食施設の整備改修及び設備更新
令和4年度 の事業内容	給食施設の修繕工事、給食設備等の修繕、公用車購入
事業の実績・成果	
<p>(1)大安学校給食センター修繕工事</p> <p>ア 変圧器高圧絶縁油取替工事 請負業者 株式会社エレックス極東四日市サービスセンター</p> <p>イ 真空冷却機修繕工事 請負業者 株式会社アイホー名古屋支店</p> <p>ウ 業務用冷凍庫排水配管工事 請負業者 有限会社岡電機商会</p> <p>エ 業務用冷凍庫購入 請負業者 ナカムラ建設</p> <p>(2)藤原学校給食センター修繕工事</p> <p>ア NO. 1ボイラー改修工事 請負業者 有限会社十社電気商会</p> <p>(3)大安学校給食センター公用車購入 請負業者 株式会社北伊勢自動車</p>	
事業の総合評価	
<p>学校給食設備の改修及び更新については、配食に影響が出ないように時期や工期を設定することが難しいが、令和4年度は、計画的に取替工事や修繕工事を行うことができた。また、緊急に修繕の必要性が生じる場合もあるため、維持管理費に係る予算の計上も難しいが、緊急性の高いものから修繕を行った。</p> <p>大安学校給食センター及び藤原学校給食センターは、修繕箇所も多くみられ、施設維持管理に費用がかかる。学校給食の方向性を児童数及び生徒数の推移に合わせ、適正な施設整備を計画的に行っていく。</p>	

教育振興ビジョン 基本理念	1 「豊かな心・確かな学力・健やかな体」の育成
事業名	不登校児童・生徒対策事業
事業の目的	教育相談を充実させ、児童及び生徒と保護者の悩みを解消し、児童及び生徒の社会的自立を支援する。
事業の概要	(1)「ふれあい教室(いなべ・東員教育支援センター)」、「各中学校の校内教育支援センター」の活動を充実させ、不登校児童及び生徒の社会的自立を目指す。 (2)指導員による相談、カウンセラーによる教育相談、臨床心理士による研修会や事例検討会を充実させ、不登校の未然防止と児童及び生徒の社会的自立を図る。
令和4年度の 事業内容	(1)ふれあい教室、校内教育支援センターの活動支援 (2)相談事業の実施(指導員による相談、臨床心理士による相談、事例検討会、研修会等)
事業の実績・成果	
<p>下記の取組を実施したが、令和4年度の市内小中学校における1,000人当たりの不登校児童及び生徒数は、小学校12.0人、中学校29.0人(前年度は、小学校10.2人、中学校25.7人)となり、やや増加傾向となった。</p> <p>(1) 市費でスクールソーシャルワーカーを1人、ふれあいサポーターを5人配置した。</p> <p>(2) 市内各中学校に「校内教育支援センター」を開設し、月1回のふれあいサポーター連絡会を通じて活動支援を行った。</p> <p>(3) いなべ・東員教育支援センターと月1回の連携会議を通じて指導員の資質向上を図り、不登校児童及び生徒への支援の充実に努めた。また、保護者交流会では、保護者の不安を和らげることができた。</p> <p>(4) 不登校児童及び生徒に関する各校の校内委員会に参加し、学校への復帰だけでなく、将来の社会的自立に向けて必要な支援を行った。</p> <p>(5) 「不登校の未然防止・早期対応システム」を周知し、各校の組織対応の支援を行った。</p> <p>(6) 予防的取組の観点から、関係機関等と連携し、効果的な支援を中心とした取組を継続的に行った。</p> <p>(7) 支援に関する共通理解を図るため、スクールカウンセラー、臨床心理士、ふれあいサポーター及び指導主事による交流学习会を7月に開催した。</p>	
事業の総合評価	
<p>理由別欠席調査、聴き取り調査及び学校訪問を通して、不登校の未然防止、早期発見及び早期対応に努めた。市内各中学校に開設した「校内教育支援センター」では、ふれあいサポーターが子どもに寄り添いながら、子どもの社会的自立を目的に運営を行った。不登校の要因や背景は、個々の児童及び生徒によって異なっており、複雑化、多様化していると考えられるため、今まで以上にいなべ・東員教育支援センター及び関係機関と定期的な連携会議や事例検討会を実施し、緊密な連携を図る。</p>	

教育振興ビジョン 基本理念	1 「豊かな心・確かな学力・健やかな体」の育成
事業名	学校ICT活用事業
事業の目的	教職員、児童及び生徒がICT機器を有効に活用できる環境を実現する。
事業の概要	(1)教職員、児童及び生徒に対し、ICT活用支援を行う。 (2)ICT機器等について、適正な運用保守を行う。
令和4年度 の事業内容	(1)ICT活用支援 (2)ICT機器等運用保守
事業の実績・成果	
<p>(1)ICT教育推進のための取組</p> <p>ア ICT教育定例会(12回開催)</p> <p>＜参加者＞教育委員会事務局(学校教育課、教育研究所)、法務情報課、ICT導入業者、ICT機器活用支援員派遣会社</p> <p>＜主な内容＞ICT支援員サポート報告、ICT活用事例報告、ICT機器ヘルプデスク報告、今後の取組内容</p> <p>イ 情報教育担当者会議(3回開催)</p> <p>＜参加者＞各校情報教育担当者</p> <p>＜開催日及び内容＞</p> <p>第1回 令和4年5月24日 令和4年度ICT活用について</p> <p>第2回 令和4年11月15日 情報モラル教育研修、デジタルドリル学習研修</p> <p>第3回 令和5年2月14日 日常的なタブレット活用についての意見交流</p> <p>(2)ICT機器活用支援員 平均月4回派遣(週1日)</p>	
事業の総合評価	
<p>平常時の学校でのICT活用だけでなく、非常時(学年閉鎖等)にICT活用し、オンライン学習を行うことができた。年度末に実施した教員ICT活用アンケートでは、電子黒板及びタブレットPCの活用が進み、日常的な活用度が高まっていることを把握できた。今後は、いつでも学校及び家庭でICTを活用した学習を行うために、事業の継続、充実の必要がある。</p>	

教育振興ビジョン 基本理念	1「豊かな心、確かな学力、健やかな体」の育成
事業名	小中一貫教育推進事業
事業の目的	義務教育を9年間という大きなまとまりで捉え、一人ひとりの資質、能力、態度等をよりよく養うことができる教育を研究、推進する。
事業の概要	(1)小中一貫教育を推進する非常勤講師の配置 (2)小中一貫教育を手法とした研究協議会の開催 (3)小中一貫教育の保護者への周知
令和4年度の 事業内容	各中学校区の小中学校1校ずつに非常勤講師を配置し、小中一貫教育を手法とした教育研究を推進する。
事業の実績・成果	
<p>いなべの明日を担う心豊かでたくましい子どもの育成を目指し、個を高め、集団を成熟させる「一人力、仲間力」を基盤とした「生き抜く力、生き合う力、生き拓く力」を育てるために、小中一貫教育を手法とした教育の在り方について、研究、推進した。</p> <p>(1)週16時間講師を小学校に2人、中学校に3人、週9時間講師を小学校に8人配置した。</p> <p>(2)いなべ市小中一貫教育推進委員会の開催(略称INB9) 年間4回</p> <p>(3)中学校区小中一貫教育推進WG会議の開催 各中学校区15回</p> <p>(4)中学校区小中一貫教育コーディネーター会の開催 各中学校区10回</p> <p>(5)いなべ市小中一貫教育保護者リーフレットの発行・・・通巻第8号 いなべ市の進める小中一貫教育について、取組の概要を保護者と地域の皆様に知らせた。</p> <p>(6)小中一貫教育研究発表会の開催 北勢中学校区11月2日(水)・・・参加者150人</p> <p>(7)視察の受入れ(藤原小中学校) 10月18日(火) 洲本市議会教育民生常任委員会(6人) 11月17日(木) 美浜町教育委員会(8人) 2月 9日(木) 鈴鹿市教育委員会事務局(3人)</p>	
事業の総合評価	
<p>令和2年度から令和5年度までの4年間を小中一貫教育第2次推進期間と定め、取組を推進している。小中学校の教職員交流が進むとともに、小中学校9年間の系統的及び計画的な教育実践を実施できている。今後も、日々の授業実践をもとにした授業研究の充実に努め、研究の成果を毎年積み重ねていく。</p>	

教育振興ビジョン 基本理念	1 「豊かな心・確かな学力・健やかな体」の育成
事業名	夢・未来プロジェクト2030事業
事業の目的	体験教育及びキャリア教育により、「ひとり力(エージェンシー)」及び「仲間力(ウェルビーイング)」を身につける。
事業の概要	研究推進校4校において、プロジェクトアドベンチャーの手法を取り入れた、いなべ市独自のプログラムである「いなベンチャー」を構築する。 日本航空の客室乗務員がふるさと応援隊として、市内各校において授業を行い、ホスピタリティの精神やSDGsについて学ぶ。
令和4年度の 事業内容	(1)株式会社プロジェクトアドベンチャー日本の難波講師による指導 38回 (2)株式会社日本航空ふるさと応援隊による授業 105回
事業の実績・成果	
<p>【いなベンチャー】</p> <p>心がワクワクするグループチャレンジによる課題解決活動の実体験を通して、安心できる学級、支え合う学級、豊かな人間関係づくりに取り組む中で、一人ひとりの主体的な学びを促進し、困難にチャレンジする気持ち、自己肯定感の向上及び思いやりの心を育むことを目的として実施した。</p> <p>(1)昨年度に引き続き、株式会社プロジェクトアドベンチャー日本の難波克己さんを講師に迎え、4校の研究推進校を中心にいなベンチャーの実践研究を進めた。</p> <p>(2)4校の全学年が、プロジェクトアドベンチャーの活動を体験できるように実施した。</p> <p>(3)研究所の夏季研修講座で、プロジェクトアドベンチャーについての講座を開催した。</p> <p>【ふるさと応援隊】</p> <p>人・社会・世界、そして未来へとつながる「ホスピタリティ」の精神を日本航空客室乗務員のキャリアや対人コミュニケーション技術等から学び、次代を担う児童生徒が人としての立居振舞を身につける機会にすると共に、SDGsの取組やキャリア教育を推進することを目的として実施した。</p> <p>(1)年間を通じて各学校が2回程度の学校活動(客室乗務員の授業)を実施した。</p> <p>(2)4つの講座「客室乗務員お仕事講座」「マナー講座」「情報伝達:プラス受信・発信」「SDGsの取り組み」の中から、各学校が希望する内容や実施学年を選択してふるさと応援隊学校活動を実施した。</p>	
事業の総合評価	
<p>【いなベンチャー】</p> <p>研究推進校において、理念や活動方法等を学ぶことができた。令和5年度も更なる実践研究を進め、その成果等を市内各校に発信し、市内教職員の理解と実践力の向上を図る必要がある。</p> <p>【ふるさと応援隊】</p> <p>マナーや接客のプロである客室乗務員から直接に、テーマに合わせた内容と「相手を大切にする」「感謝の心」等の人としてのあり方を学ぶことができた。令和5年度も学校の希望に合わせて継続して実施する。</p>	

教育振興ビジョン 基本理念	2 創意と活気に満ちた特色ある学校づくりの推進
事業名	地域学校協働事業
事業の目的	(1)地域資源を生かした特色ある教育活動の推進 (2)学校、家庭及び地域の協働による教育活動の充実 (3)地域の活性化並びに家庭及び地域の教育力の向上
事業の概要	コミュニティ・スクール及び地域学校協働活動の一体的な充実を図り、児童及び生徒の健やかな成長を支援し、地域づくりを推進する。
令和4年度の事業内容	(1)学校運営協議会の開催 (2)地域学校協働活動の実施及び活動費補助
事業の実績・成果	
<p>令和4年度から、市内全ての学校が「コミュニティ・スクール」となり、各校において年間3回以上の学校運営協議会を開催し、保護者及び地域住民の学校運営への参画が図られた。</p> <p>また、地域と学校が同じ目標に向かって協働する活動(地域学校協働活動)を推進していく団体として、学校の教職員、保護者、地域住民とで構成する「地域学校協働委員会」が各学区に組織された。各地域学校協働委員会に対しては、事業推進のための活動費補助を行った。</p> <p>令和4年度は、これまで「いなべ市学援隊」として各校の活動を支えてくださったボランティアの方々を中心に、保護者や地域住民が地域学校協働活動に参画し、次のような取組を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習支援(ミシンや裁縫の支援、マラソン練習の見守り、宿題の見守り等) ○ 体験活動支援(米づくり、野菜づくり、しめ縄づくり等) ○ 子ども、保護者、地域住民、教職員の交流行事(祭り)の開催 ○ 登下校の見守り(街頭指導、付き添い登下校等) ○ 学校及び地域の環境整備(窓拭き、樹木の伐採、草刈り等) ○ 広報誌の発行(自治会回覧、HPへの掲載等) 	
事業の総合評価	
<p>いなべ市内の学校においては、保護者や地域住民の参加・参画による教育活動を展開することができた。今後も、学校運営協議会における熟議を通じた学校教育活動の充実と、地域学校協働委員会が推進する地域学校協働活動の充実を図り、「地域とともにある学校づくり」及び「学校教育を通じた地域づくり」を一体的に推進していく。</p>	

教育振興ビジョン 基本理念	1 「豊かな心・確かな学力・健やかな体」の育成
事業名	外国人英語指導事業
事業の目的	外国人英語指導助手(ALT)による英語指導により、中学校生徒の英語科学力向上と小中学校児童及び生徒のコミュニケーション能力のさらなる向上を図る。
事業の概要	(1)5人のALTを小学校と中学校に配置、内1人は小学校のみに配置 (2)小学校外国語活動及び中学校英語科の授業を実施 (3)触れ合うことによるコミュニケーション能力の育成 (4)異文化に触れ、国際理解教育を行う
令和4年度 の事業内容	(1)外国人英語指導助手派遣業務 (2)研修会の実施
事業の実績・成果	
<p>外国語活動及び英語教育を充実させるために、外国人英語指導助手(ALT)を各校に配置し、中学校生徒の英語科学力向上と小中学校児童及び生徒のコミュニケーション能力のさらなる向上を図った。</p> <p>(1)外国人英語指導助手(ALT)による英語指導内容</p> <p>ア 5人のALTを小学校と中学校に配置、内1人は小学校のみに配置した。</p> <p>イ 小学校外国語活動及び中学校英語科の授業を担当とALTと共に実施した。</p> <p>ウ ALTと直に触れ合うことによるコミュニケーション能力の育成を図った。</p> <p>エ 異文化に触れ、国際理解教育を行った。</p> <p>(2)外国人英語指導助手(ALT)配置時間数</p> <p>小学校5、6年生 ALT活用授業時数35時間 (年間、1学級当たり)</p> <p>中学校 ALT活用授業時数35時間以上(年間、1学級当たり)</p> <p>(3)外国人英語指導助手(ALT)年間実施日数</p> <p>北勢中 151日、員弁中 117日、大安中 148日、藤原中 114日、 阿下喜小 38日、十社小 39日、治田小 38日、山郷小 79日、員弁西小 80日、員弁東小 75日、 石樽小 76日、三里小 77日、笠間小 40日、丹生川小 39日、藤原小 75日</p> <p>(4)教員向け研修の実施</p> <p>外国語活動及び英語教育を充実させるために、出前型教員向け研修を小学校で実施した。</p>	
事業の総合評価	
<p>委託契約から派遣契約に切り替えたことで、授業者とALTが十分に連携して、よりよい外国語活動が行えている。また、平成29年度から専門性の高い講師による研修会を行い、教員の意識や技術を高めることができている。質の高いALTの確保が課題であるので、今後も、契約会社と十分に話し合い、契約期間を複数年にしていく。</p>	

教育振興ビジョン 基本理念	3 教職員の資質の向上
事業名	教育研究所事業
事業の目的	研修講座等の実施を通じて、教職員の資質、指導力の向上を図る。
事業の概要	(1) 研究事業（教育課題の研究、調査統計及び資料作成、研究まとめ）を実施する。 (2) 研修事業（研修講座、出前研修）を実施する。 (3) 教育支援事業（教育相談、教育資料提供）を実施する。 (4) 広報事業（要覧作成、研究所たより発行）を実施する。
令和4年度 の事業内容	喫緊の教育課題の研究、教育課題に対応する研修講座を実施し、各校及び関係機関へ発信する。
事業の実績・成果	
<p>(1) 研究事業 下記の研究を実施し、研究紀要にまとめるとともに、各校へ研究成果を発信した。 ア 国語科における教員の指導観と指導方法について イ 今年度のいなベンチャーの取組みと今後の方向性についての一試案</p> <p>(2) 研修事業 16の研修講座を実施し、延べ536人の教職員の参加を得た。講座受講者のアンケート結果からは、「大変満足」「概ね満足」の回答が合わせて約99%となった。また、受講した教師の87%が「研修講座で学んだことを活用できた」と回答した。</p> <p>(3) 教育支援事業 学校等からの研修会内容や講師に関する相談や依頼に応じて情報提供を行ったり、研修会を開催したりした。</p> <p>(4) 広報活動事業 5月に要覧を発行した。「研究所たより」を発行し（年間11号）、教育情報を発信した。</p>	
事業の総合評価	
<p>研修員による「国語科における教員の指導観と指導方法について」「今年度のいなベンチャーの取組みと今後の方向性についての一試案」をテーマとした研究は、生徒エージェンシーを育成していくために欠かせないものであり、現場で生かすべき内容となった。研究報告会をオンラインで行ったことで、より多くの教師に伝えることができた。研修講座は、新型コロナウイルス感染対策をした上で、集合研修で開催することができた。今後も、現在の教育課題、学校現場のニーズに合致し、教職員の資質向上を図る研修講座を企画するとともに、より多くの教職員が研究成果や研修講座での学びを活用できるようにする工夫や仕組みが必要である。</p>	

教育振興ビジョン 基本理念	4 青少年の夢を育む地域づくりの推進
事業名	青少年健全育成市民活動事業
事業の目的	地域社会の育成能力を引き出し、青少年の健全育成を図る。
事業の概要	(1) 非行防止防犯パトロール及び有害環境浄化活動の実施 (2) 育成員研修会及び青少年参加体験事業の開催 (3) 市青少年育成市民会議事務局運営委託
令和4年度の 事業内容	青少年健全育成の推進及び青少年育成市民会議事務局運営委託の継続
事業の実績・成果	
<p>(1) 青少年健全育成市民活動(委託先 いなべ市青少年育成市民会議)</p> <p>ア 「地域で見守る！子どもの安全安心を考える集い」開催 川越自動車学校による交通安全教室(北勢中学校及び藤原中学校)</p> <p>イ 「ふれあう心のメッセージ」募集選定 市内小中学生を対象に心温まるメッセージを募集 (応募総数 3,190 点、入賞 19 点)</p> <p>ウ 「こどもをまもるいえ」設置運動 児童及び生徒が安全に登下校できるように地域の協力によって設置 令和5年3月末現在、市内 905 か所の個人宅、事業所等が設置に協力</p> <p>エ 「巡回指導(夏季、冬季、春季)」「未成年者喫煙防止キャンペーン」 市青少年育成市民会議推進員による非行防止啓発のため市内大型商業施設等の巡回を学校の長期休暇に合わせて実施</p> <p>オ 青少年健全育成活動 ジュニア学習会、折り紙と人形劇の集い、秋の歩こう会やチャレンジスポーツなど、子どもたちが自然と触れ合う体験活動を実施</p> <p>(2) 青少年育成市民会議事務局運営(委託先 放課後子ども教室ほくせい)</p>	
事業の総合評価	
<p>いなべ市青少年育成市民会議に業務委託して、青少年の健全育成を目的とした活動を実施した。 今後もいなべ市青少年育成市民会議とともに家庭、学校、関係機関等の連携によって地域に根ざした活動を実施し、多彩な活動機会の提供や社会参加機会の提供を図る。</p>	

教育振興ビジョン 基本理念	4 青少年の夢を育む地域づくりの推進
事業名	放課後子ども教室事業
事業の目的	子どもの居場所を確保し、子どもの社会性、協調性及び自立性を育み活動機会の創出を図る。
事業の概要	地域の多様な人々の参画を得て、子どもたちとともに学ぶ学習、スポーツ、文化活動等の取組を支援するため次の事業を行う。
令和4年度の事業内容	放課後子ども教室事業運営委託の継続
事業の実績・成果	
<p>子どもたちの文化芸術活動や地域住民との交流活動等の機会を提供し、子どもたちが地域社会の中で心豊かで健やかに育まれる環境を創造するため、いなべこども活動支援センター、放課後子ども教室ほくせい及びいなべ市立員弁西小学校西っ子夢くらぶに放課後子ども教室事業を委託している。</p> <p>(1) レギュラスクール(通年教室) 参加者数(延べ)</p> <p>ア いなべこども活動支援センター 2,485人</p> <p>イ 放課後子ども教室ほくせい 4,284人</p> <p>ウ いなべ市立員弁西小学校西っ子夢くらぶ 1,155人</p> <p>(2) オープンスクール(長期休暇の単発教室) 参加者数(延べ)</p> <p>ア いなべこども活動支援センター 1,049人</p> <p>イ 放課後子ども教室ほくせい 1,638人</p> <p>(3) 子どもまつり(レギュラスクールの舞台発表)の開催</p> <p>ア いなべこども活動支援センター 2月12日(日) 420人</p> <p>イ 放課後子ども教室ほくせい 3月19日(日) 600人</p>	
事業の総合評価	
<p>放課後子ども教室ほくせい、いなべこども活動支援センター、員弁西小学校西っ子夢くらぶが、それぞれ地域の教育力を生かした放課後子ども教室を開催した。各教室は水曜日、週休日や夏休みなどの長期休暇に開催し、令和4年度は、参加者は延べ11,631人を得た。</p> <p>今後も、学校などの教育機関と連携し子どもたちが心豊かで健やかに育まれる環境づくりに取り組んでいく。</p>	

教育振興ビジョン 基本理念	5 生涯学習の充実								
事業名	文化施設等管理運営事業								
事業の目的	安全で快適に利用できる施設の維持管理及び運営を維持する。								
事業の概要	(1)文化施設4施設の維持管理 (2)文化施設一般利用受付及び貸出し管理業務								
令和4年度 の事業内容	施設維持管理及び運営の継続								
事業の実績・成果									
<p>(1)保守管理業務</p> <p>自家用電気工作物保安管理、空調設備保守点検、消防設備保守点検、移動観覧席保守点検、施設内清掃、植栽手入れ除草等環境整備、舞台照明設備保守点検、ホール音響設備保守点検、舞台機構保守点検、施設警備保障業務、自動ドア保守点検、昇降機保守点検、危険物施設定期点検、ボイラー排気ガス点検、貯水槽及び水質検査業務、AED借上げ</p> <p>(2)施設使用(予約)受付業務</p> <p>ア シルバー人材センター施設受付管理業務委託</p> <p>イ 施設予約システム運用</p> <p>ウ 施設利用者数</p> <table style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>北勢市民会館</td> <td>33,486 人</td> </tr> <tr> <td>員弁コミュニティプラザ</td> <td>22,166 人</td> </tr> <tr> <td>大安公民館</td> <td>27,586 人</td> </tr> <tr> <td>藤原文化センター</td> <td>6,698 人</td> </tr> </table>		北勢市民会館	33,486 人	員弁コミュニティプラザ	22,166 人	大安公民館	27,586 人	藤原文化センター	6,698 人
北勢市民会館	33,486 人								
員弁コミュニティプラザ	22,166 人								
大安公民館	27,586 人								
藤原文化センター	6,698 人								
事業の総合評価									
<p>施設及び設備の保守点検を例年どおり計画的に行った結果、一般利用に支障を来たすような不備や事故などの事案は発生していない。新型コロナウイルス感染拡大防止の対策は令和4年度も継続して施設運営を行った。今後は、施設長寿命化のため改修工事を計画的に実施し、限られた予算の範囲で利用者からの要望に応えるとともに、施設等の設置又は管理の瑕疵が発生することのないように適切な管理運営に努める。</p>									

教育振興ビジョン 基本理念	6 文化芸術活動の充実
事業名	文化芸術活動推進事業
事業の目的	市民の自主的な文化芸術活動を支援する。
事業の概要	(1) いなべ市芸術文化協会への地域文化振興業務及び市民祭企画運營業務等委託 (2) いなべ市和太鼓協会への和太鼓芸能普及振興業務委託 (3) いなおぺ実行委員会へのいなべ市民オペラ企画運營業務委託
令和4年度 の事業内容	市民及び各種文化芸術団体の自主的な活動支援の継続
事業の実績・成果	
<p>(1) 地域文化振興業務委託料 8,903,000 円</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 「しげちゃん一座 絵本ライブショー」(入場者数 436 人) イ 「宝くじ文化公演 EBIKEN THE ENTERTAINMENT」(入場者数 382 人) ウ 「おかあさんといっしょ ファンターネ!とあそぼ」(入場者数 1209 人) エ 「北海道歌旅座 ザ・コンサート 2022」(入場者数 170 人) オ 「かるクラ・ウインドオーケストラコンサート in いなべ」(入場者数 235 人) <p>(2) 名フィル定期演奏会企画運營業務委託料 4,993,000 円</p> <p>「名フィルのオーケストラ傑作選 Vol.12」 いなべ市親善大使の川瀬賢太郎指揮による名古屋フィルハーモニー交響楽団定期演奏会(入場者数 372 人)</p> <p>(3) 市民祭企画運營業務委託料 2,413,000 円</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 展示発表(作品出展者数 469 人、来場者数 1,050 人) イ 舞台発表(秋 出演者数 211 人、来場者数 603 人、 春 出演者数 193 人、来場者数 700 人) <p>(4) 和太鼓芸能普及振興業務委託料 900,000 円</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 市内保育園での演奏披露 イ 市民祭出演 <p>(5) いなべ市民オペラ企画運營業務委託料 999,900 円</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 市民オペラの制作 イ 市民オペラの上演及び公開(公開イベント来場者数 372 人) 	
事業の総合評価	
<p>市芸術文化協会をはじめとする文化芸術団体は、地域の人々がより主体的に文化芸術活動が行えるように情報を発信し、成果発表の機会を提供している。本市の文化芸術の振興を図るため、文化芸術活動を行う市民の自主性を尊重しつつ、文化芸術を市民の身近なものとし、包括的に文化芸術活動支援事業を推進していく。</p>	

教育振興ビジョン 基本理念	6 文化芸術活動の充実
事業名	埋蔵文化財調査記録保存事業
事業の目的	地下に存する埋蔵文化財の情報及び保護に関する手続を周知し、保護協議の上、必要に応じて記録保存等の必要な保護措置をとる。
事業の概要	(1)市ホームページ地理情報(遺跡情報)による遺跡情報公開 (2)埋蔵文化財有無照会回答 (3)庁内各部署公共工事計画把握 (4)埋蔵文化財包蔵地内土木工事等にかかる保存協議及び対応
令和4年度の事業内容	(1)埋蔵文化財範囲確認調査、保護協議 (2)埋蔵文化財本発掘調査整理作業
事業の実績・成果	
(1)埋蔵文化財包蔵地内土木工事保護措置件数 ア 範囲確認調査 1件 イ 工事立会 17件 ウ 慎重工事 4件 (2)範囲確認調査重機借上料 261,360円	
事業の総合評価	
埋蔵文化財包蔵地内の開発について市開発部局とも情報を共有し、専門的知識及び技術を有する職員により、適切な埋蔵文化財の保護を行った。 今後も、発掘調査や出土遺物の整理作業を円滑かつ効率的に実施できる体制を構築し、埋蔵文化財包蔵地等で、開発又は建設工事を行う際の手続についても、より一層の周知を行っていく。	

教育振興ビジョン 基本理念	6 文化芸術活動の充実
事業名	国重要文化財等保存活用促進事業
事業の目的	国指定天然記念物ネコギギの飼育増殖及び放流事業並びに郷土史の調査研究及び展示収蔵品を管理する。
事業の概要	(1) 文化財保護法(昭和 25 年法律第 214 号)、天然記念物ネコギギ保護管理指針(平成 17 年三重県)に基づく業務 (2) 歴史文化、郷土資料収集、展示、調査研究等並びに設備等の保全及び修繕
令和4年度 の事業内容	(1)ネコギギ生息状況及び生息環境調査並びに個体飼育増殖の継続 (2)ネコギギの放流実験 (3)特別企画展の開催 (4)郷土資料館の移転工事及び収蔵品移設
事業の実績・成果	
<p>(1)ネコギギ飼育増殖業務委託</p> <p>ア 滋賀県立琵琶湖博物館(滋賀県草津市)</p> <p>イ 株式会社江ノ島マリンコーポレーション 世界淡水魚園水族館アクア・トトギス(岐阜県各務原市)</p> <p>(2)放流したネコギギの河川繁殖の成功(平成29年、平成30年、令和2年～令和4年に稚魚確認)</p> <p>(3)特別企画展「ネコギギといなべの川にすむ魚たち」を開催(10月29日～11月27日)</p> <p>(4)第25回「日本水大賞」環境大臣賞の受賞</p> <p>(5)国登録有形文化財(建造物)桐林館における学校見学の対応</p> <p>(6)郷土資料館の移転工事(8月完了)</p> <p>(7)郷土資料館収蔵品・備品の移設(2月完了)</p>	
事業の総合評価	
<p>ネコギギ保護増殖事業は、市管理施設及び飼育増殖委託機関での人工ふ化で成果を上げている。河川護岸等の災害復旧工事にあわせてネコギギをはじめとする魚類の生息環境に配慮した工法が取り入れられるなど、建設部局等の協力が得られる体制が構築されている。近年は放流したネコギギが野外での自然繁殖に成功している。特別企画展でのアンケートは 689 件回答があり、盛況のうちに終了した。</p> <p>平成 18 年から継続して取り組んできたネコギギ保護事業が評価され、日本水大賞の環境大臣賞を受賞した。国登録有形文化財(建造物)の桐林館は、昭和中期の教室復元を行うなどした結果、市内外からの来館者が増加し、文化財保護の普及啓発に寄与している。</p> <p>いなべ市郷土資料館は旧中里小学校移転のための移転リニューアル方針を定め、方針に基づき移設収蔵品の選出、展示方法を決定した。</p>	

教育振興ビジョン 基本理念	7 総合的なスポーツの推進
事業名	地域スポーツ推進事業
事業の目的	スポーツを通して「人と人」「地域と地域」の交流を促進する。
事業の概要	(1) いなべ市スポーツ協会への地域スポーツ振興業務等委託 (2) いなべ市スポーツ推進委員による住民へのスポーツ推進のための指導助言 (3) 美し国三重市町対抗駅伝大会出場選手派遣準備
令和4年度 の事業内容	市民及び各種スポーツ団体の自主的な活動支援の継続
事業の実績・成果	
<p>(1) 地域スポーツ振興業務委託料 21,151,000 円</p> <p>ア 「いなべ市スポーツ協会加盟各種団体大会等開催」 協会加盟24競技団体活動費助成</p> <p>イ 「いなべ市スポーツ少年団本部加盟各種団体大会開催」 本部加盟10競技団体活動費助成</p> <p>(2) いなべ市スポーツ推進委員協議会スポーツ推進活動</p> <p>ニュースポーツ講習会(団体健康増進事業 年13回 参加者約623人)</p> <p>(3) 美し国三重市町対抗駅伝参加事務事業委託料 1,376,761 円(委託先 いなべ市スポーツ協会)</p> <p>代表選手選考会(デンソー大安製作所内陸上競技場)</p>	
事業の総合評価	
<p>いなべ市スポーツ協会は、各競技団体の競技力向上を図るため、年間を通じて各種大会及び研修会を開催しており、その成果の一つとして、令和4年度中に、いなべ市スポーツ競技全国大会等出場賞賜金の交付対象となった人数が延べ96人に達している。今後も、スポーツ協会への業務委託を通じて市内アマチュアスポーツ団体及びスポーツ少年団活動の支援を行っていく。</p> <p>スポーツ推進委員協議会によるニュースポーツ及び軽スポーツの普及活動は、出前講習会などの参加者数の面で一定の成果を上げた。</p> <p>今後も継続して取り組む。</p>	

教育振興ビジョン 基本理念	7 総合的なスポーツの推進
事業名	スポーツ施設管理運営事業
事業の目的	安全で快適に利用できる施設の維持管理及び運営を維持する。
事業の概要	(1)社会体育施設22施設の維持管理 (2)社会体育施設一般利用受付及び貸出し管理業務 (3)施設及び関連設備の修繕
令和4年度 の事業内容	施設維持管理及び運営の継続
事業の実績・成果	
<p>(1) 保守管理業務</p> <p>自家用電気工作物保安管理、電気照明設備保守点検、空調設備保守点検、消防設備保守点検、移動観覧席保守点検、運動場・グラウンド・テニスコート整備、施設トイレ等清掃、植栽手入れ除草等環境整備、プールろ化装置保守点検、プール管理監視、小型船舶定期検査、AED 借上げ</p> <p>(2) 施設使用(予約)受付業務</p> <p>ア シルバー人材センター施設受付管理業務委託</p> <p>イ 施設予約システム運用</p> <p>ウ 施設利用者数 合計 176,982 人</p> <p>(3) スポーツ施設修繕事業 7,784,150 円</p>	
事業の総合評価	
<p>施設及び設備の保守点検を例年どおり計画的に行った結果、一般利用に支障を来たすような不備や事故などの事案は発生していない。限られた予算の範囲で利用者からの要望に応えるとともに、施設等の設置又は管理の瑕疵が発生することのないように今後も適切な管理運営に努める。</p>	

教育振興ビジョン 基本理念	7 総合的なスポーツの推進
事業名	ツアー・オブ・ジャパンいなべステージ開催事業
事業の目的	自転車の国内最大級国際ステージレース「ツアー・オブ・ジャパン」のいなべ市での定着化を図る。
事業の概要	ツアー・オブ・ジャパンいなべステージの定着化を目指し、ツアー・オブ・ジャパンいなべステージ実行委員会を組織して大会を運営する。
令和4年度の事業内容	実行委員会を組織して、2022ツアー・オブ・ジャパンいなべステージ大会を運営する。
事業の実績・成果	
<p>新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大により、2022ツアー・オブ・ジャパン(TOJ)いなべステージは、開催中止となったが、ロードバイク自転車界のトップレーサーが集う国際大会を誘致したことで、平成31年度までの大会では毎年20,000人以上の観客を得ることができ、いなべ市の知名度を国内外に高めてきた。</p> <p><ツアー・オブ・ジャパン(TOJ)とは></p> <p>ツアー・オブ・ジャパンとは、UCI(国際自転車競技連合)公認の国内最大級の国際自転車レース。8日間、8都市で開催されるステージレースであり、出場するチームや選手の半数は外国人選手である。「いなべステージ」は平成27年度の第18回大会から開催しており、自転車を通じた地域づくり、国際交流、健康増進及び体力の向上に寄与している。</p>	
事業の総合評価	
<p>令和2年度、令和3年度、令和4年度と3年連続でTOJいなべステージ及び関連イベントは中止となったが、本事業は市内企業、ボランティア、消防署、警察署、スポーツ協会等各種団体と連携することで、官民一体となった大会運営が根付いており、地域の活性化、本市の知名度向上やスポーツ振興につながっている。</p> <p>今後も、TOJいなべステージをすばらしい大会にするため、官民一体となって努力を続け、自転車競技のさらなる発展に取り組んでいく。</p>	

教育振興ビジョン 基本理念	8 自然環境の保全・充実
事業名	藤原岳自然科学館博物展示事業
事業の目的	藤原岳を中心とする鈴鹿山系の豊かな自然について紹介することにより、自然保護の重要性を普及啓発する。
事業の概要	(1)動物、植物、岩石、化石等の標本や写真展示によるいなべ市の自然の紹介及び展示施設の維持管理 (2)自然科学作品展や企画展などの自然科学館事業の企画運営 (3)市民や学校等の自然探究活動の支援 (4)ホームページ等での情報発信 (5)いなべ市内及び近隣地域の自然環境調査研究
令和4年度の事業内容	(1)藤原岳自然科学館事業の企画運営 (2)展示施設の維持管理 (3)資料収集及び調査研究
事業の実績・成果	
<p>令和4年度の藤原岳自然科学館入館者数 10,131 人</p> <p>(1)常設展示 常設展示物の追加及び交換、淡水魚飼育水槽の管理、所蔵標本類の保守作業</p> <p>(2)企画展示 ア 第44回児童生徒自然科学作品展(期間中入場者数 608人) イ 企画展「秋の鳴く虫展」(期間中入場者数 約 970 人)</p> <p>(3)学校、教育機関等における理科学習等の支援活動 員弁西小学校、山郷小学校、治田小学校、藤原小学校、藤原中学校、聖母の家学園の受け入れ</p> <p>(4)広報活動 ア ポスター、チラシ及びパンフレットの配布 イ マスコミ(新聞、CTY 等)による行事内容等の紹介 ウ いなべ10撮影による「いなべの自然みっけ隊」で動植物の自然情報を毎月紹介 エ 館報「藤原岳」第44巻(94頁)の発行</p> <p>(5)調査研究 ア 市内各地での資料収集及び調査により得られた資料の標本作製と保管 イ 館報で調査結果の公表(植物、昆虫類)</p>	
事業の総合評価	
<p>コロナ禍で入館者数が減少していたが、4年ぶりに1万人を超え、市内や近隣地域の小学校が社会見学等で利用するなど、いなべ市の自然を市の内外にアピールする施設として今後も重要である。</p>	

教育振興ビジョン 基本理念	8 自然環境の保全・充実
事業名	藤原岳自然科学館自然教室事業
事業の目的	市民が当市の自然に触れる機会を設け、その素晴らしさ、貴重さを体感してもらうことにより、自然環境を守ることの重要性をアピールする。
事業の概要	(1)一般市民を対象とした自然教室の開催 (2)自然科学研究の成果を発表する場の提供
令和4年度 の事業内容	(1)自然教室の開催(21講座) (2)連続講座(植物、昆虫)の開催 (3)児童生徒自然科学研究発表会の開催
事業の実績・成果	
<p>(1)藤原岳自然科学館自然教室(令和4年4月～令和5年3月) 21講座、570人参加</p> <p>(2)自然教室連続講座</p> <p>ア「万葉人の愛した植物を通して～植物学の事始め」 3回、延べ49人参加</p> <p>イ「昆虫少年、少女のための基礎講座～めざせ昆虫博士」 3回、延べ54人参加</p> <p>(3)第46回児童生徒自然科学研究発表会 1回、4組(4人)参加 自然科学作品展及び研究発表会の入賞者表彰</p>	
事業の総合評価	
アンケート結果によると参加者の満足度は高く、観察場所として利用する「ふるさとの森」や「屋根のない学校」に継続して来訪される方もおり、いなべ市の自然環境の良さをアピールする事業として、今後も継続して取り組んでいく必要がある。	

教育振興ビジョン 基本理念	5 生涯学習の充実
事業名	屋根のない学校事業
事業の目的	自然の中で自然に親しみ自然に触れる体験活動や地域の歴史、文化に触れる活動を通じて、五感を育み感性豊かな子どもを育てる。
事業の概要	(1)体験教室の開設 (2)拠点施設「屋根のない学校」の維持管理
令和4年度の事業内容	(1)体験教室実施：9教室、合計47回 (2)施設の維持管理
事業の実績・成果	
<p>体験教室の開設</p> <p>「びっくり生きものアラカルト」、「昆虫と遊ぼう」、「人びとのいのちとくらしを守る植物」、「田んぼと畑の学校」、「自然いっぱい遊びにCLG」、「川で遊ぼう！～水の中の生きものさがし～」、「親子工作教室」、「カメラやスマホで写真撮影」の8つの教室を、1年を通して開設した。</p> <p>各教室の受講者が交流する合同教室も含めて9教室で47回開催し、延べ538人の参加があった。</p>	
事業の総合評価	
<p>参加者アンケートによると、体験活動の満足度は高く、継続実施を望む声が多いため、今後も引き続き取り組んでいく必要がある。従来の教室に加え、新規の教室を開設し、講師陣の世代交代を進めている。</p> <p>日頃から敷地内全体の草刈りなど環境整備を行っており、維持管理に対して来訪者の評価は高い。</p>	

教育振興ビジョン 基本理念	8 自然環境の保全・充実
事業名	希少動植物保全事業
事業の目的	市域内の環境調査を年間通して実施し、開発行為等に対して、適正な自然環境の保全対策の実施につなげる。また、市民に対しても自然保護意識の啓発につなげる。
事業の概要	(1)『いなべ市の植物』、『いなべ市の自然』等発刊書籍の販売 (2)市内各地での自然環境調査 (3)野生動植物の紹介
令和4年度の事業内容	(1)『いなべ市の植物』を始めとする書籍の継続的な販売 (2)貴重種等の生息、生育状況を適宜調査 (3)市内に生息、生育する野生動植物を写真や生体展示などで紹介
事業の実績・成果	
<p>(1)発刊書籍の販売</p> <p>『いなべ市の植物』の販売数は8冊 『いなべ市の自然』の販売数は11冊 『いなべ市に咲く花とその果実』の販売数は8冊 それぞれ、窓口での直接販売及びメールによる注文販売を受け付け、自然教室参加者にも宣伝紹介して、販売を促進した。</p> <p>(2)自然環境調査</p> <p>市内各地で貴重種等の生息、生育状況、分布状況を調査した。調査は39回26か所で実施。 調査で得た知見については、館報「藤原岳」第44巻で報告した。</p> <p>(3)野生動植物の紹介</p> <p>自然科学館受付にて、「ふるさとの森の今」として、貴重種やその時期に見られる旬の花などを写真と解説文で紹介し、市内に生息する貴重種等について生体の展示も行った。</p>	
事業の総合評価	
<p>継続的な自然環境調査、『いなべ市の植物』における詳細な植物分布記録や貴重種等の分布情報は、各種問い合わせや開発協議等に対応することができる。また、生体展示は、来館者の興味を引き、自然保護の啓発に役立っている。</p>	

学識経験者の意見

1 判定結果

教育委員会の具体的な事業について、年度ごとに作成している「いなべ市教育要覧」を資料とし、教育に関する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行った結果、令和4年度事業の実施状況は、おおむね適切であると判定します。

2 教育委員会の事務に関する意見及び評価

【教育総務課に関する事業】

(1) 公立小学校施設整備事業及び公立中学校施設整備事業

(委員) LED照明器具等賃貸借は、昨年度は石榑小学校と北勢中学校で契約したとのことですが、他の学校については、順番に契約していくということですか。また、賃貸と購入では、コスト面でどれくらい違いますか。

(事務局) 他の学校については、順番にLED照明化していきます。また、購入だと約5,000万円かかります。賃貸だと、約2,000万円です。賃貸は10年契約で、10年経過すると市へ無償譲渡となります。LED照明では電気代も安くなり、賃貸で契約をしました。

(委員) 総合的に判断して賃貸で契約をしているということですので、10年後に譲渡された時には、教育総務課でしっかりと管理をしてください。

(2) 公立小学校施設維持管理事業及び公立中学校施設維持管理事業

(委員) 学校の環境整備について、地域の要望とはどのようなものでしょうか。

(事務局) 地域や学校運営協議会からの要望によって、学校施設内の木を切ったり、草を刈ったりします。大雨が降った時に、側溝から水があふれているということを地域の方から教えていただいて、対応できたということもあります。

(3) 公立中学校施設維持管理事業

(委員) 中学校のプールろ過機保守点検を実施していますが、中学校全てにプールがあるのでしょうか。また、授業もあるのででしょうか。

(事務局) 中学校にプールがあるのは、北勢中学校だけです。部活動で利用しており、授業では水泳はありません。

(4) 学校給食施設維持管理事業

(委員) 給食費の無償化は、とても助かります。今後も恒久的に続いてほしいと思います。教職員の立場から言っても大変助かります。集金業務は本当に大変でしたので、ありがたいことだと思います。

(事務局) 給食費の無償化は、教職員も保護者も子どもにとっても良いことだと思っています。

教職員の業務も非常に軽減できたと思っています。市長は、予算を確保した上で、恒久的に無償化すると言っており、いなべ市は給食費の無償化を続けていきたいと考えています。

(5) 学校給食施設整備事業

(委員) 給食施設について、毎年、修繕費も多くかかっていますし、人的なことも含めて、給食センターを一元化したほうが良いと考えます。今後の見通しを教えてください。

(事務局) 一元化することは考えていませんが、北勢町の小学校の自校式4つをまず一つにするという検討はしています。給食を提供しながら改修をすることは出来ないのです。新たにセンターを建築するのか、現在ある給食センターへ統合するのかなどの検討が必要です。施設や設備がまだ使えたり、それらの耐用年数を見極めたり、十分に検討していかないといけないと考えています。自校式では時間の融通が利くなどの良い部分もあります。いなべ市は広いので、一元化すると融通の利かない部分も出てくると思っています。そういった部分や人的なことも含めて、十分に検討していきます。

【学校教育課に関する事業】

(6) 人権教育について

(委員) 性同一性障害等について、対応の仕方の検討や準備などをしていく必要があると考えています。

(事務局) 児童生徒の状況や思い、保護者の思いなどもそれぞれにあり、一律な対応はできないと考えています。学校は相談があれば、児童生徒や保護者の思いを受け止めながら、真摯に対応していくというのが実情です。人権教育事業の中で、性同一性障害等も含めさまざまな人権問題について研修会を開いたり、取り組んだりしています。

(7) 中学校部活動について

(委員) 学校の部活動について、地域移行や外部指導員についても検討されていると思いますが、なかなか進んでいないように思われます。現状や今後の見通しはどうでしょうか。

(事務局) 国からは、特に学校部活動の週休日に関わる部分を、地域クラブ活動に移行することを求められています。いなべ市においても、昨年度から「いなべ市中学校部活動在り方検討委員会」を立ち上げて、地域移行に向けた議論を進めています。先日、保護者と中学校の生徒向けに、国の方向性といなべ市の現状を配信させていただきました。令和6年度に一つの部活動をモデル事業として指定し、週休日を学校部活動ではなく、「地域クラブ活動」と位置づけ、地域クラブ活動に指導員として登録いただいた方の指導を受けるということを始めます。そこで、成果や課題を検証しながら、徐々に発展させていきたいと考えています。数年後には、全ての部活動を地域移行したいと考えています。財源や指導員の確保の課題がありますが、検討委員会や事務局で協議しながら進めているというのが実情です。

(委員) 平日の部活動でも、部員が少なく試合にも出られないという状況があります。その部分

もどう考えてみえますか。

(事務局) 生徒の人数が減ってきています。そうすると自ずと教職員の人数も減り、実施できる部活動数も減ってきています。合同チームを作るなど選択肢はありますが、実情としては難しいです。試合に出場できる部員が集まらなければ、部活動を削減するしかないというのが実情です。在籍する中学校に自分の入りたい種目の部活動が無いという問題がでてきていると思いますが、地域移行することによって、休日には自分の入りたい種目のクラブに入るという選択肢が広がるのではないかと考えています。当面は、学校部活動と掛け持ちのような形になると思います。また、違う種目を選択するというケースも出てくると思います。さらに、平日の部活動も地域移行へという流れになってくると思いますが、平日の放課後に指導員の確保が困難であるという問題など課題は多いです。

自治体によって財政力や地域の状況も違いますが、最終的に子どもたちにしわ寄せがいかないように考えていく必要があると思っています。子どもは学校だけではなく、地域も一緒になって育てていこうという大きな動きにしていく必要があると思っています。学校だけではなく、地域の皆さんも当事者となり、地域の子どもたちを育て、いろいろな機会で子どもたちに関わっていただきたいと思っています。

(8) 学校教育現場のA I

(委員) 他の市町ですが、教師の働き方改革の一環で、A Iを使ってテストの答案の回答を行って、時間外労働条件を改善していますが、いなべ市はどうでしょうか。

(事務局) 最終的には教師が細かな部分を見るため、全てをA Iに任せるということができないので、まだそこまで考えてはいません。この問題については、文科省の方からも通知などが来ておりますので、今後の検討課題とします。

【生涯学習課に関する事業】

(9) スポーツ施設管理運営事業

(委員) 員弁運動公園のサッカー場は、ナイター照明の修繕に時間がかかると聞いております。大安スポーツ公園の野球場は、ナイター照明は使えませんが、放送設備は古くなっていますが、なんとか使える状況です。フェンスなども修繕の必要があるように思います。立派な野球場やサッカー場なので、補修や修繕をしてほしいです。

(事務局) 野球場のナイター設備のある所は、員弁運動公園野球場、阿下喜小学校運動場、藤原第1野球場です。大安スポーツ公園野球場と員弁運動公園のサッカー場は基盤が壊れていてナイター設備が使えないということで、ご不便をおかけしています。大安スポーツ公園野球場に限ったことではなく、市内の体育施設の老朽化は顕著となってきています。また、文化施設も多くあります。どこを優先して修繕していくのか検討して、計画的に進めていきます。照明のLED化についても考えていく必要があると思っています。

(10) スポーツ施設管理運営事業

(委員) 体育施設の空き状況が気軽に確認できるようなシステムがあり、インターネットで予約ができればいいなと思います。また、鍵の受け渡しなども、施設が遠いと大変です。気軽に利用できるようなになればいいなと思います。

(事務局) いなべ市ホームページサイト「いなべ市施設予約システム」によって、空き状況の確認ができるようになっていました。仮予約もできますが、事前に申請者登録をしていただく必要があります。その場合、予約日の7日前までに本予約をしていただく必要があります。本予約は、窓口に来ていただいて申請していただくことになっています。体育施設は3か月前の1日(1月は6日)から当日まで利用受付をしています。また、学校の体育館、運動場は3日前までに申請していただいています。毎月1日は、朝早くから窓口で並んで、申請していただいている状況があります。特に、員弁運動公園体育館は利用率が高く、予約で埋まっている状況があり、気軽に利用していただけることが難しい状況になっています。各体育施設には管理人が常駐しておらず、各地区の受付窓口で鍵の受け渡しをしている現状です。今後も、このような方法で利用申請の受付、鍵の受け渡しを行っていく予定です。インターネット予約についても、今のところは考えていません。ご理解とご協力をお願いいたします。

【その他】

(11) (委員) 少子高齢化の問題があり、その施策として給食費の無償化、奨学金制度、私学の助成などがありますが、他にも何かあれば教えていただきたい。財政の問題もありますので一概には言えませんが、私学の助成の値上げなどはどうでしょうか。子どもが少なくなると、住みよい町とは言えなくなるので、教育委員会としても何か対策などを考えているのか教えていただきたい。

(事務局) 私学の助成については、現状維持です。学校の児童数の減少率が高いのは、宅地造成が進んでいないというのも原因の一つだと思われます。給食費の無償化など子育てにやさしい教育を進めることで、いなべ市に移住していただき、人口を増やすことは喫緊の課題であると感じています。また、市を挙げて、人口を増やす取組を行う必要があると考えます。

教育委員会としては、「いなべの教育」を推進していますが、子ども、保護者、地域にとって良い教育を進めていくことが、まずは優先してやるべきことだと考えています。その中の一つとして、日本航空の客室乗務員がふるさと応援隊として、各校に来て授業をしていただいています。学校教育の中で、ホスピタリティの精神やSDGsについて学ぶという事業をしています。日本航空の取締役会で地域本部の取締役の方が赤坂社長に、特徴的な事業として「いなべ市モデル」を行っているという話をさせていただきました。学校教育の中で年間を通してホスピタリティやキャリア教育を行っていることは、日本航空名古屋支店にとっても重要な取組だということで評価をいただいています。

これからのいなべの教育については、他の市町では行っていないような事業もありますので、広報できる場所は広報していく必要があると思っています。

（委員）いなべの教育は良いと言われておりますし、他の市町では行っていない事業もあり良いことですので、もっと積極的に広報して行ってください。

評価委員からいただいた貴重なご意見及び評価を活かし、今後の業務の改善に向けて、より良い教育行政の推進に努めていきます。